

科目番号	7	科目名	現代社会と法		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名	滋賀			大学	
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係				
	TEL :	0749-27-1017		FAX :	0749-24-5122
担 当 教 員	坂田 雅夫			(経済 学部 教授)	
実 施 方 法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用		
教 室 名	未定	会場	彦根キャンパス		
授 業 期 間	2024 年 10 月 3 日 (木) ~ 2025 年 1 月 23 日 (木) <毎週 木曜日> 2 時限・講時 10 : 30 ~ 12 : 00				
超過時の選考方法	書類により選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			%	
	その他 (定期試験と小テストの総合評価)			100 %	
別 途 負 担 費 用	なし			あり () 円	
そ の 他 特 記 事 項					
<講義概要・到達目標>					
【授業の目的と概要】					
授業題目「いろいろな法律の役割」 この講義の目的な様々な法律が社会で果たしている役割を理解することである。 この講義では様々な法律の代表的な事例を取り上げることによって、いろいろな法律が社会でどのような役割を果たしているのかを話していく。 この講義は対面で開講する。					
【授業の到達目標】					
様々な法律の特徴について理解する。 この講義は滋賀大学経済学部のディプロマ・ポリシーの多くと関わりがあり、とくに「社会に関わる多様な学問に接し、広い知識と基礎的な考え方を習得している。」に関係している。					
【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】					
予習・復習についてはSULMSで別途文献一覧を配布予定である。 基本的には授業計画に書いている教科書の該当章を読むことが予習として求められている。復習には文献一覧を参考に各自関連文献を読み込むこと。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	10 月 3 日	ガイダンス			
2	10 月 10 日	国内裁判入門:ドラマから見てみる日本の裁判(序章第2節)			
3	10 月 17 日	民法1(さあ、〇〇さんを裁判に訴えてみよう)(第3章、とくに第4節)			
4	10 月 24 日	民法2(結婚、離婚、遺産)(第2章)			
5	10 月 31 日	刑事法(警察に捕まった大変だ...)(第5章)			
6	11 月 7 日	憲法1(国際法1)人権(私たちはどんな権利を持っているのか)(第1章)			
7	11 月 14 日	憲法2 内閣、国会、裁判所、予算、財政(第6章、教科書には書かれていないことも多いので別途指示)			
8	11 月 21 日	労働法(第4章)・環境法(別途指示)			
9	11 月 28 日	会社法・経済法(別途指示)			
10	12 月 5 日	質問受付			
11	12 月 12 日	国際法入門(第7章)			

12	12月19日	戦争と国際法(別途指示)
13	1月9日	海洋法・日本の抱える領土問題(別途指示)
14	1月16日	国際裁判(別途指示)
15	1月23日	まとめ・質問受付
<p><教科書・参考書></p> <p>【教科書】 ISBN 9784641184046 書名 判例法学 著者名 西村健一郎,西井正弘,初宿正典・執筆代表,ニシムラケンイチロウ,ニシイマサヒロ,シヤケマサリ, 出版社 有斐閣 出版年 2012</p> <p>ISBN 9784641009240 書名 ポケット六法, 令和6年版 著者名 佐伯, 仁志, 1958-,大村, 敦志, 1958-,荒木, 尚志, 1959-,佐伯仁志, 大村敦志, 荒木尚志 編集代表 出版社 有斐閣 出版年 2023.9</p> <p>【教材に対する補足情報】 教科書に指定している「判例法学」はすでに10年以上前の本になっている。ただ教科書と判例集の性格を同時に持つ所として便利であり、この講義の教科書として指定しておく。もちろんこの10年であった新しい判例の動向などについては、別途フォローする。</p>		